

## 「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

|      |   |      |                         |
|------|---|------|-------------------------|
| 市町村名 | 名張市                                       | 開催場所 | 赤目公民館                   |
| 開催日  | 9月19日（金）                                  | 開催時間 | 19：30～21：00<br>（1時間30分） |
| 参加者数 | 16名                                       |      |                         |
| 説明者  | 名張市長、企画財政部長、<br>秘書室長、企画財政政策室長<br>総合企画室長 他 | 【備考】 |                         |

1．開会（司会）【19：30】

2．あいさつ

- ・ 地区代表区長幹事
- ・ 市長【19：35～19：55】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

- ・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【20：00～20：30】
- ・ 質疑【20：30～21：10】

Q（参加者）非常によい基本構想だと思うが、こういった基本構想を進めていく上でも財源が必要。財源を確保するために事業所の誘致、工業団地の活用を進め、住民の流出を止め、ひとりひとりの収入を増やし、税収を増やすといったことについて、どう考えているのか。

A（市長）税収を増やすための企業誘致、公有地財産の有効活用はプロジェクト的にさせていただきます。ただ、名張の人口を増やすためには、名張の特性、住環境、暮らしやすさを特化していきたいと考えています。最近、名張市に住んで伊賀町、上野市に通勤している人が増加していて、名張は住むのによいところというイメージで人口増を図っていけると思います。

また、製造業は非常に厳しい状況であるため、雇用の創出などを考えると、工場誘致だけでなく福祉施設の誘致ということも考えていきたいと思っています。

Q（参加者）モラルの向上、食生活の勉強、住民のコミュニケーション、家に閉じこもらないような老人と子どもの交流、買い物など外出時の助け合い、情報化の推進などを願いたい。

A（市長）環境面などのモラルの向上については、教育委員会と連携して取り組みたいと考えています。

低栄養の問題については、簡単に血液検査でき(アルブミン検査)、来年あたりからモ

デル地域を作り、医師会と連携して検査をし、低栄養のかたについては、食生活改善グループに対応いただき改善していきたくと考えています。

市民が気軽に外出できるよう、10月からコミュニティバスの検討会を立ち上げ、来年度にテストケースとしてバスを走らせたいと考えています。また一人一趣味を持つていただくために生涯学習、生涯スポーツにも力を入れていきたくと思います。

情報化の推進については、国の情報化推進のための指定をいただき、施設整備も含めて国の事業にのって進めています。

Q（参加者）赤目のふるさとづくり委員会の中で、住民がつくった計画の三大事業

高齢者の憩いの家。赤目の日の谷というところに使われていない温泉がある。それを利用して温泉施設をつくり、介護保険を受けなくてもよい元気な老人が多いまちにしたい。また障害者が利用できるバリアフリーの温泉施設にしたい。

子どもの教育という観点から自然を遊具にした施設（アサヒジュウケン跡地）、池、ボートなどがあり、小動物と遊べ、雨天でも利用できる屋根のついた広場のある施設にしたい。

県道の整備事業。地権者の同意がなかなか得られず交渉が難航している。まちづくり委員会で各地権者をまわり、同意を求める。

A（市長）市が整備するのは困難ですが、施設の誘致などはお手伝いできるのではないかと思います。高齢者のためのマンション、共同施設として食堂などは兼用で部屋は個室といった形式のものが増えていて、また、商工会議所の中でも、旧町にそういった施設をつくる勉強会もあるので、会議所とも連携していきたく。榊原にも治療のための温泉施設があり、泉質もよく似ているので、勉強もしていきたくと思います。

子どものための施設については、長屋池周辺も含めてふるさとづくりのなかで検討いただきたい。

承諾がなかなか得られないが、だらだらしてはいけないと思うので、県議にもお願いし、県にも入ってもらい、積極的に進めるようにしたい。

Q（参加者）最近、水道管を25mmから40mmに入れ替えるため、約20mほど県道を掘り返さなければならず、見積もりをとってもらったところ、あまりに高い金額に驚いた。質の高いサービスというならば、5年前に先のことを考え40mmにしておいてくれれば、今問題にならなかったのではないか。

A（部長）業務に精通したものがいないため、はっきりしたことはいえませんが、道路の中に入っている本管は市の水道部が管理しています。そこから引くのは個人の負担で、5年前に口径など判断され、設置されたのでは？

Q（参加者）以前は受水槽を設置していたが、水圧が上がったため衛生面からも直接汲み上げた方がよいという知らせが水道部からあって、工事をするにしました。

A（総合企画室長）5年前にわかっていればよかったが、水道の仕組みが大きく変わり、水圧の関係で、受水層を設け水道管を設置していたものを、水質の関係、安全性からできるだけ水圧を上げ直接上げたほうがよいということで、お知らせをさせていただいたのだと思います。しかし、それも選択でき、安全面など将来のことを考え、投資さ

れたということだと思えます。

A(企画財政部長)最初のご質問に対して、去年の市税収入は100億円ほどありましたが、市民税4億5千万円、固定資産税2億円のあわせて6億5千万円の減収になっています。

滝の原工業団地は原価で販売すれば坪8万5千円。名阪沿いの土地はもっと安い価格で販売しているため、誰も見向きしません。雇用などの効果も考え、賃貸に変更するなどの発想の転換を考えています。

(市長)工場の拡張も計画されていて、来年度中に1つは名張市内で200人ぐらい雇用が増えます。もう一つは名張と上野の境界ですが、雇用はほとんど名張からになり100人ぐらい増える予定とのことです。元気のある企業も出てきています。

5. 閉会